

国境の山岳信仰

脊振山系の聖地・靈場を巡る

佐賀県指定重要文化財 「背振山」銘銅製経筒
(平安時代／佐賀県立博物館蔵)

脊振の峰に
金胎両部の
両界曼荼羅を描く

両界曼荼羅図(胎藏界・部分)
(江戸時代／福岡・大悲王院蔵 写真提供:福岡市博物館)



平成28年 1.30(土) ▶ 3.13(日)

会 場 伊都国歴史博物館 企画展示室

特別展観覧料 大人300円(200円)/小中高生200円(150円)

()は20名以上の団体料金。

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日



銅製三鈷杵
(鎌倉～室町時代／
九州歴史資料館蔵)

【会場・お問合せ】

糸島市立伊都国歴史博物館

〒819-1582 福岡県糸島市井原916番地

TEL:(092)322-7083 FAX:(092)321-9155

URL:<http://www.city.itoshima.lg.jp/soshiki/33/hakubutsukan.html>

E-mail:itokoku-museum@mst.ocn.ne.jp

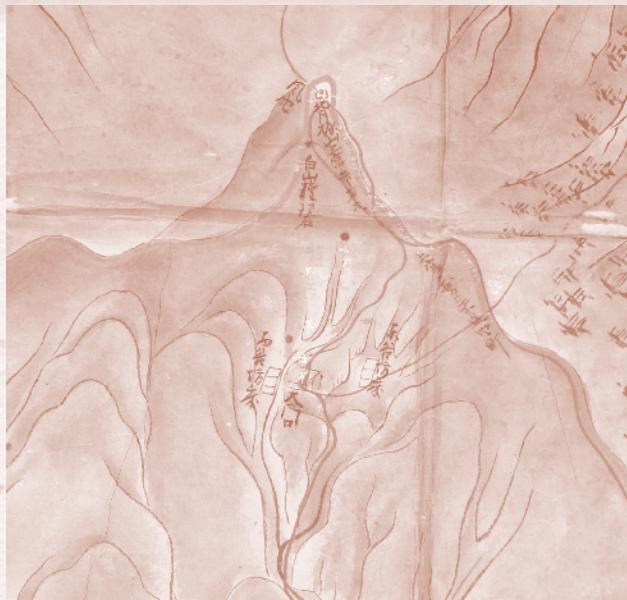
本展覧会及びシンポジウムは、科学研究費(若手研究(B)「寺院遺構・信仰遺跡からみた脊振山信仰の研究」課題番号25770291)の成果によるものです。

〔主催〕伊都国歴史博物館・九州歴史資料館

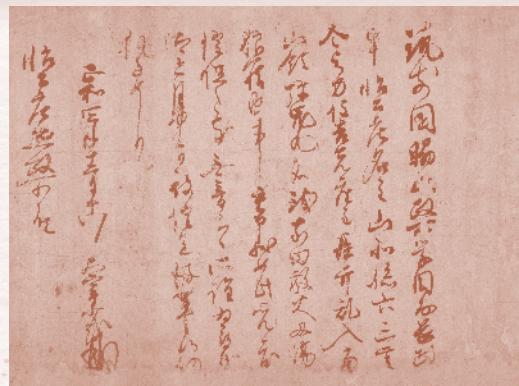


福岡県と佐賀県の間に、東西に長く横たわる脊振山系。かつて筑前国と肥前国の境でもあったこの山系では、古来より山そのものへの信仰に基づく多くの聖地・霊場が営まれ、山系各所でその痕跡が確認されています。脊振山や九千部山、金山などのほか、糸島でも、山系に連なる雷山や浮嶽、二丈岳などに今もその名残があります。

九州歴史資料館と伊都国歴史博物館の共同開催となる今回の展示では、脊振山系での地道な現地調査により明らかになった古代からの山岳信仰の姿を、約60件の文化財を通し、最新の知見も交えつつご紹介します。



近世の国境争いに関連して描かれた脊振山
背振山図[部分] 江戸時代／九州大学附属図書館蔵



背振山東門寺の筑前側所領の支配を示す
少式貞經召文 鎌倉時代／佐賀・修学院蔵



初公開!!二丈岳の信仰を示す証拠
陶製経筒 中國・宋時代
／糸島市教育委員会蔵



佐賀県内最古の懸仏
佐賀県指定重要文化財
水上懸仏
鎌倉時代／佐賀・水上区蔵
写真提供・佐賀県立博物館



浮嶽南麓に伝えられた古仏
佐賀県指定重要文化財
阿弥陀如来坐像
平安時代／佐賀・東木浦区蔵
写真提供・佐賀県立博物館

関連企画

■関連講座 (『伊都学』第7回)
「近世の背振山
—九州大学附属図書館所蔵『背振山図』から—
講師:服部英雄 氏(九州大学名誉教授)
日時:平成28年2月11日(木・祝) 14時~15時30分

■ミニシンポジウム(科研成果報告) (『伊都学』第8回)
「国境の山岳信仰
—脊振山系の聖地・霊場を巡る—
報告者:岡寺 良 氏(九州歴史資料館)
山本 義孝 氏(袋井市歴史博物館)
吉田扶希子 氏(西南学院大学)
日時:平成28年3月6日(日) 13時~16時

会場:伊都国歴史博物館研修室
受講料・参加費:300円 定員:100名(事前申込制・先着順)
申し込み方法:伊都国歴史博物館へ電話(下記)にて受付
※関連講座は平成28年1月15日(金)より、
ミニシンポジウムは2月2日(火)より受付開始

■お問い合わせ先

糸島市立伊都国歴史博物館

〒819-1582 福岡県糸島市井原916番地
TEL:092-322-7083 FAX:092-321-9155
URL:<http://www.city.itoshima.lg.jp/soshiki/33/hakubutsukan.html>
E-mail:itokoku-museum@mist.ocn.ne.jp

■バス

JR筑肥線波多江駅下車、波多江駅西バス停からミニバス(井原山線)井原山行き、伊都国歴史博物館前バス停下車。

または、JR筑肥線周船寺駅からミニバス川原線川原行き、高祖バス停下車徒歩10分。

■車

(福岡市方面から)

九州自動車道福岡インターまたは太宰府インターから福岡都市高速道路経由西九州自動車道今宿インターを降り、国道202号飯氏交差点を左折、約8分。

(唐津方面から)

国道202号波多江交差点を右折、約8分。